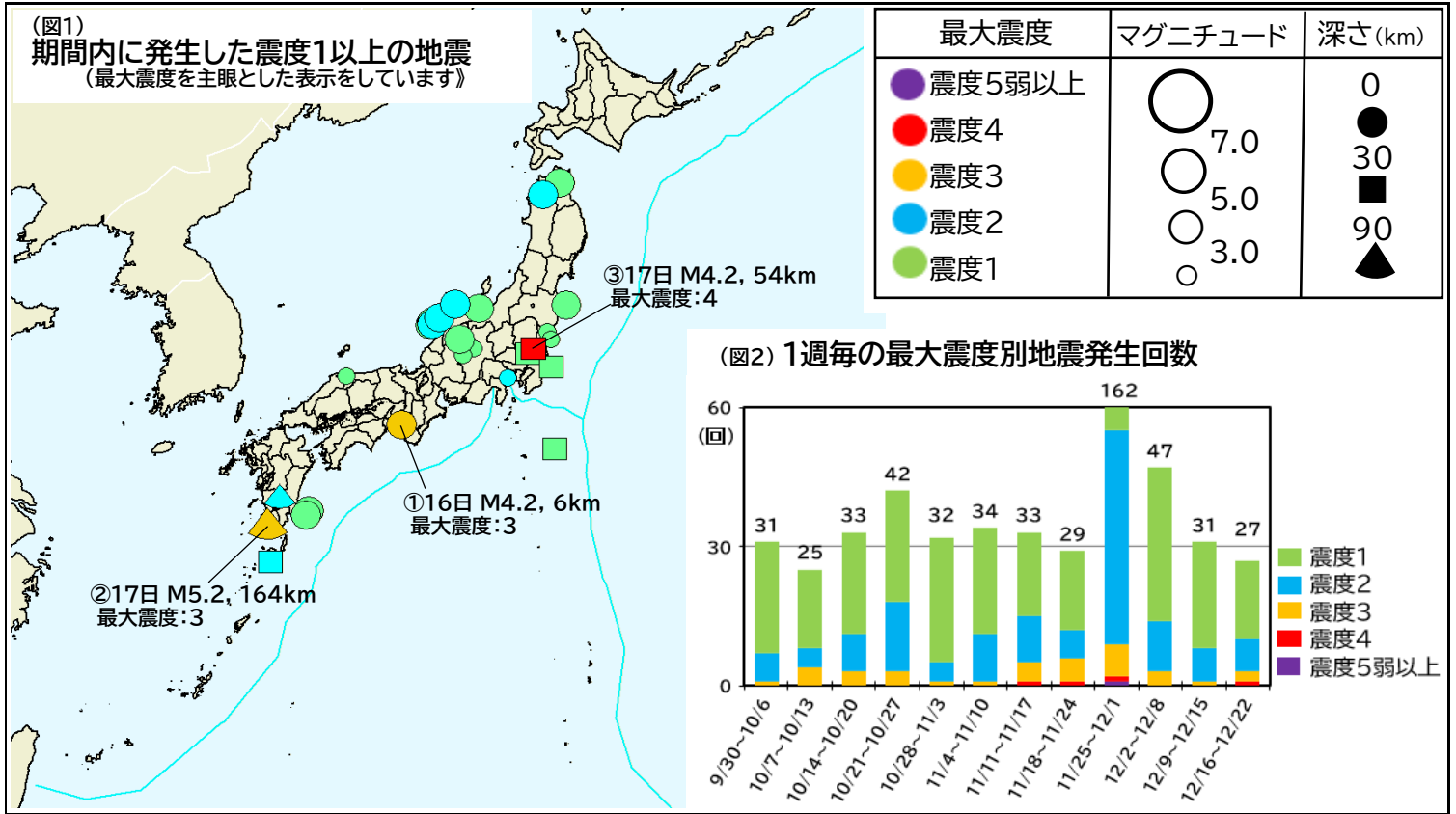


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が27回発生。最大震度は4。 ■
- ①12月16日04時37分に和歌山県北部で発生した地震(M4.2、深さ6km)により、和歌山県和歌山市・御坊市・湯浅町・日高川町・有田川町で震度3を観測したほか、三重県から四国地方東部にかけて震度2~1を観測。
- ②12月17日13時09分に薩摩半島西方沖で発生した地震(M5.2、深さ164km)により、鹿児島県南さつま市で震度3を観測したほか、四国地方から九州地方にかけて震度2~1を観測。
- ③12月17日22時11分に茨城県南部で発生した地震(M4.2、深さ54km)により、栃木県宇都宮市・壬生町で震度4を観測したほか、福島県から関東地方にかけて震度3~1を観測。

トピックス

- 日向灘その後の地震活動 ■
- ・8月8日に日向灘でM7.1(最大震度: 宮崎県日南市で震度6弱)の地震が発生したことに伴い、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が2019年に運用開始以来初めて発表されたことから、当時、繰り返し頻りに報道されました。この地震を振り返り、その後の地震活動を見えます。
- ・この地震は、南海トラフ地震の想定震源域内の南西端で発生したもので、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型の地震です(図3, 図4)。
- ・津波も発生し、宮崎県宮崎港で51cm、高知県土佐清水で25cmなど千葉県から鹿児島県にかけて津波を観測しました。
- ・この地震以降に、この付近で12月23日までに震度1以上を観測した地震は36回で、最大規模の地震は9日04時23分に発生したM5.4(最大震度3)で、震度3以上の地震が6回発生しましたが、現在は8月の発生以前と同様な発生状況となっています(図5)。
- ・この付近の1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺ではM6.0以上の地震が時々発生していますが、M7を超える地震の発生は少ない。

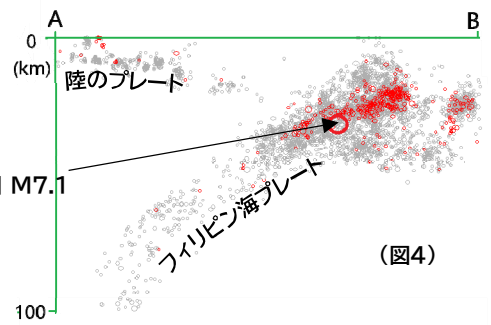
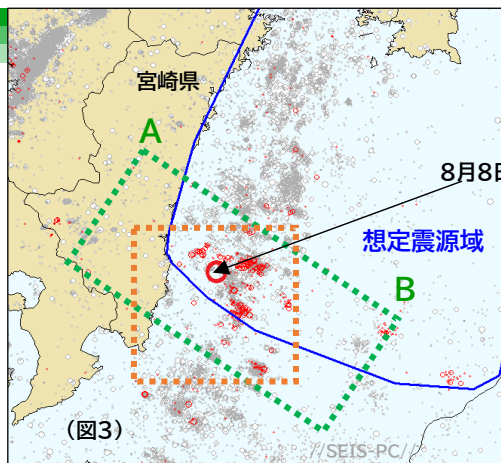


図3: 震央分布図(M ≥ 2.0)
● 1997/10/1 --- 2024/8/7
● 2024/8/8 --- 2024/12/21
図4: 図3の緑破線内の断面図
図5: 2022年以降の月ごとの地震回数(図3の橙破線内のM ≥ 2.0)

